



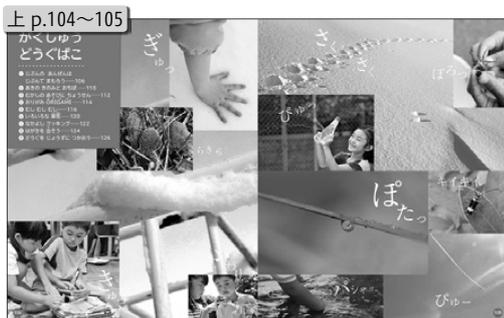
# 1 やってみたい！を育てます

①子どもの目線に立ったダイナミックで躍動感のある活動写真で、子どもの興味・関心を刺激し、実際の活動への意欲や期待を引き出します。

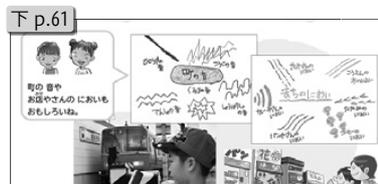


「すごい!」「おもしろそう」子どもの驚きや感動、自分もやってみたいという思いを引き出します。また、次のページ(活動)がちらりと見える仕掛けで、「おや?」「何かな?」次の活動へつながります。

②子どもの感性を刺激する紙面で、諸感覚の活用を促し、より豊かな生活科活動を実現します。感じたことを言葉で表現することで、子どもの学びは広がり、深まります。



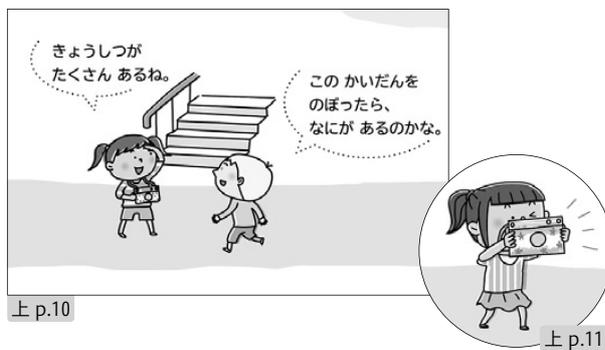
子ども自身の言葉で表現する、新たな言葉を生み出す、表現の広がりは深い学びにつながります。



オノマトペの表現で、子どもの感覚や世界は豊かに広がります。

音やにおいに焦点を当てた町探検、音地図やにおい地図を作成

③子どもの意欲をさらに引き出す工夫が満載です。例えば学校探検では、子どもたちが主体的に対象物を見つけたり、気付いたことを表現するために、たんけんカメラを準備し、子どもの意欲を高めています。

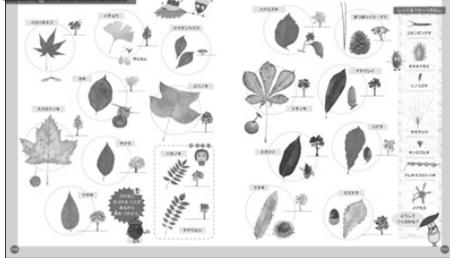


カメラを使っでの学校探検。カメラという道具を使うことで活動がより活発に、そして穴からのぞくという行為により子どもの視点をより明確にします。

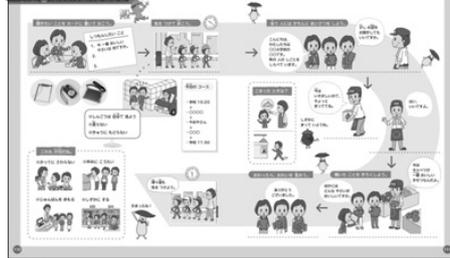
## 2 深い学びを実現します

- ①豊富な資料で子どもの学びをサポートします。活動のなかで必要に応じて参考にできる資料「がくしゅう どうぐばこ」を準備しました。内容は多岐にわたり、見つけた動植物の名前を調べたり、町探検に出かける前にインタビューの仕方を学んだりすることができます。

上 p.110~111



下 p.110~111



上 p.65



特に関連が深い部分にはリンクマークを付けました。



- ②表現活動を適切に位置付けています。多様な表現方法の例示や、伝え合いによる気づきの共有化により、子どもの気づきが質的に高まっていく姿、次の活動へつながる、自分の生活に生かそうとする子どもの姿を示しています。

下 p.94



活動後の気づきを整理し次の活動へつなげる板書例。あくまでも実際の子どもの発言を制限することなく、教師が参考にし、スムーズな活動の展開をサポートします。

上 p.53



下 p.69



絵や文章以外にも、動作化や劇化など多様な表現方法を例示しています。

上 p.73



伝える相手を想像しながら、伝え方を考えます。

- ③答えを示すのではなく、子ども自身が考える、友達と比べてみるなど、自ずと子どもの思考が促される紙面を工夫しています。



虫とその名前をあえて離すことで、一目でわからない、考える時間を設けています。

上 p.116~117

上 p.22



アサガオとフウセンカズラ、2種類を育てるという環境をつくることで、自ずと「比べる」という視点が生まれます。

上 p.32

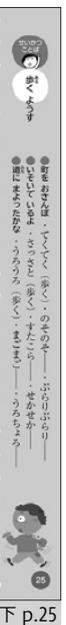


- ④「せいかつことば」で子どもの語彙力向上、言語能力の育成を図ります。言語活動の充実が、思考力・判断力・表現力の育成につながり、深い学びに導きます。



せいかつことばと、それを活用したカード例

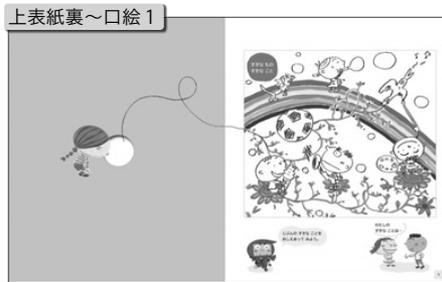
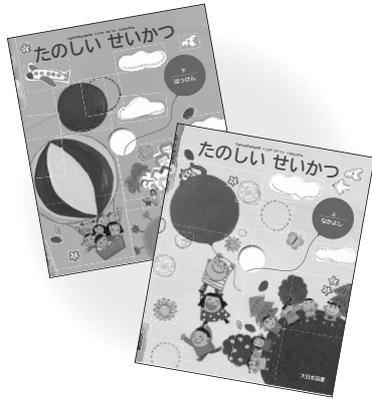
上 p.23



下 p.25

# 3 学びがつながる生活科の教科書です

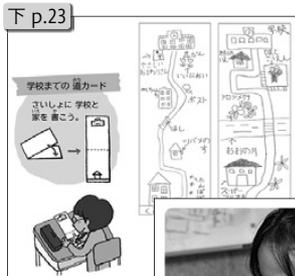
①上巻冒頭にはスタートカリキュラムに配慮した新ページを設けました。特に「仲間づくり」の活動を意識し、子どもが学校生活の「楽しさ」「安心」を獲得し、そのうえで幼児期に培ってきた力が発揮できる環境がつけられることを目指しています。



表紙から穴でつながり、伸びたつるがこれから始まる小学校生活のわくわく・どきどきにつながります。子どもの好きなもの、好きなことを互いに教え合うことで仲間づくりが始まります。

「やったことあるよ。」幼稚園や保育所で慣れ親しんだ遊びを通して、仲間づくりを深めていきます。人と関わる楽しさ、友達や先生に認められる安心感が育れます。

②中学年以降の教科教育の素地をつくることを目指しています。特に、3年生以降の理科・社会科への学びのつながりを意識し、おもちゃ作りの活動や低学年なりの空間認識の力を養う活動を取り入れました。



まずは通学路に焦点をあて、「わたしの道」として、見つけたものとその場所をつなぐ表現方法の提案です。

道カード



音を使った遊び



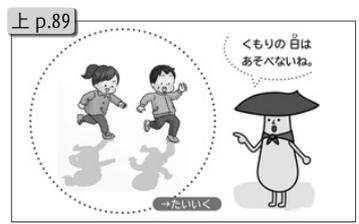
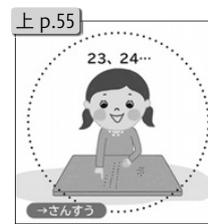
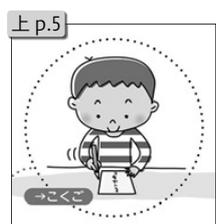
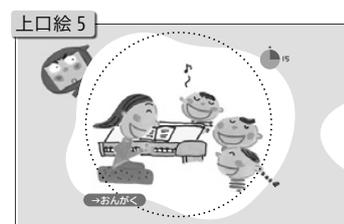
ゴムを使った遊び

生活科で楽しく遊んだ記憶が3年生以降の理科の学びにつながります。客観的な観察から、条件によるきまりに気付くよう導いています。



「～しよう」と指示するのではなく、「どうかな？」と問いかけ、子ども自身の力を引き出します。自分でできるという自信、自分でやりたいという意欲がその後の豊かな学校生活につながります。

③他教科との関連を意識し、特に合科的・関連的指導が効果的と思われる場面には、それがわかるようマークを示しました。横のつながりを意識したカリキュラム編成が可能です。



④活動がさらなる次の活動につながる、自分の生活に生かされるなど、学びに向かう力の育成にも配慮しています。



子どもたちの思いから次の活動につながる流れを、より具体的に示しています。



町探検で訪れた図書館を休日にも利用する子どもたちの姿。自分の生活に返していくという生活科の学びが表れています。

## II 対照表

教育基本法の理念に沿って、真理を追究し、豊かな人間性と創造性を身に付けることができるように、次のような点に配慮して教科書を編修しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
季節の流れに沿った大単元構成	ページが進むことで季節が進んでいくことで、子どもの意識に沿って無理なく季節と活動を結び付けることができました。(第四号)	全体
生き生きとした活動場面の写真	子どもの目線に立った、リアルで生き生きとした活動写真で、子どもの興味・関心を刺激し、思いや願いを引き出し、主体的な活動が実現できるようにしました。(第二号)	全体
子どもの生活圏にある学習の対象の例示	身近な人々、社会及び自然を学習の対象とすることで、生活科の見方・考え方を生かした学びを展開することができますようにしました。(第一号)	全体
諸感覚の活用を促す紙面表現やたんけんカメラを使った活動の例示	諸感覚を活用して自然と触れ合うことで、自然の不思議さや面白さに気付くと共に、環境にも目を向け、それを大切にしようとする心を育むことができますようにしました。(第四号)	上 p.8 下 p.10~11, 48~49 ほか
継続的な飼育・栽培活動	継続的な飼育・栽培活動で、生命の尊さを実感できるようにしました。(第四号) 生き物とその環境のつながりを考える場面や、ごみの分別やリサイクルなど、環境に配慮し、資源を大切に使う視点を示しました。(第四号) 栽培活動では、自分たちで育てた野菜を味わう活動を位置付け、食について考えることを促しました。(第一号)	上 p.16~23, 32~35, 46~51, 54~59 下 p.16~21, 28~39, 42~45ほか
多様で豊富な資料「がくしゅう どうぐばこ」	幅広い知識と教養を身に付けることができるよう、巻末に「がくしゅう どうぐばこ」を設けました。(第一号) 日本の伝統・文化を取り上げるとともに、他国の文化にも関心がもてるようにしました。(第五号) 一日の生活リズムに目を向け、規則正しい生活を示すことで、基本的生活習慣の確立、健康な心身を養えるよう配慮しました。(第一号)	上 p.104~129 下 p.106~137
学校、家庭、地域など様々な学習場面の設定	具体的な関わりを通して、挨拶やきまり、適切な言葉遣いなど、生活上必要な習慣や技能が身に付けられるようにしました。(第一号) 身近な地域で働いたり、生活したりしている人々に繰り返し関わり、そうした人々の思いにふれることを通して、その場所や人、役割に気付くとともに、地域のよさに気付き愛着をもてるようにしました。(第二、五号) 地域の人々との関わりから学んだことを、自分の生活や将来の夢、職業に結び付け、自立への基礎を養うことができますようにしました。(第二号)	上 p.9, 24~29 下 p.50~71ほか
伝え合い、交流する場面の適切な位置付け	友達との伝え合い、クラスでの話し合いの場を繰り返し取り上げ、個人の学びを集団で共有し、深め合うことができますようにしました。(第二号) 双方向の交流を意識し、人と交流することのよさや楽しさを味わうことができますようにしました。(第三号)	上 p.14, 66~67, 94, 99 下 p.26~27, 58~59, 68~69ほか
成長を振り返る活動	友達のよいところを認め合い、自分のよさを感じる場面を設定し、自他の敬愛と協力を重んじ、自分に自信をもって、将来への夢や希望をもつことができますようにしました。(第三号)	上 p.98~99 下 p.4, 86~87ほか
公共施設の利用	公共物や公共施設に目を向け、実際に利用したりすることで、正しく安全に、そして大切に利用することができますよう配慮しました。また、自分も社会の構成員であることに気付き、地域に対して発信、貢献する意欲がもてるよう配慮しました。(第三号)	上 p.28~29 下 p.70~71ほか
おもちゃ作りの活動	子どもの感性を刺激し、自然の不思議さや面白さを実感できるような紙面、教材、活動を掲載しました。(第四号) おもちゃ作りの活動を通して、試行錯誤をしたり、新たな遊びを創り出す創造性を育む活動の流れを工夫しました。(第二号)	上 p.38~41 下 p.72~81ほか
伝統・文化の紹介	昔遊びの活動を通し、我が国の伝統と文化に愛着がもてるよう配慮しました。(第五号) 地域の伝統や行事などを理解し、実際に参加したりして、地域に親しみや愛着をもち、積極的に関わろうとする態度が養えるよう配慮しました。(第三、五号) 季節の変化と自分の生活を結び付け、日本固有の風物詩や行事などに興味をもてるよう配慮しました。(第五号)	上 p.42~43, 60~61, 80~81 下 p.46~47ほか
家族の扱いへの配慮	学校の様子を家庭で報告したり、家庭生活のなかで自分の役割について気付き、自分の役割を積極的に果たすことができるよう配慮しました。(第三号) 様々な家庭環境、家族構成に配慮し、画一的な家族の形の例示とならないよう配慮しました。また、家庭のなかの様々な役割についても、性別による固定的な考えをもつことがないよう、その例示に配慮しました。(第三号)	上 p.5, 87, 90~95 下 p.5, 88~91, 100~101ほか
生活上必要な習慣や技能の習得	必要な道具を適切に使うことを意識しました。また、手や体全体を使った活動を意識し、活動に即して必要な習慣や技能が身に付くようにしました。(第一号)	上 p.126~129 下 p.75ほか
イラスト	紙面の中で子どもの登場場面の数が男女平等になるよう配慮しました。(第三号) 幼児・高齢者・外国人・障害のある人々など、多様な人々と関わる例を取り上げました。(第二、五号)	全体

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-163	小学校	生活	生活	1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	生活・103 104	たのしいせいかつ 上 なかよし 下 はっけん		

## I 編修上特に意を用いた点や特色

### 1 子どもにとっても先生にとっても楽しくわかりやすい教科書です

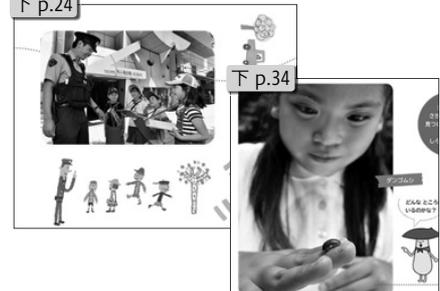
上 p.4~5



上 p.70



下 p.24



このページで何をすればよいのかを端的にわかりやすい言葉で示しています。

気付きを共有化する教室環境の例。活動をより深め、つなげていく教師の支援や環境づくりの工夫がわかります。

生活科の見方・考え方を働かせることのできる学習対象の例示で、子どもが自分との関係で対象を捉え、活動を進めていくことができます。

### 2 上下巻を通して、2年間を見通した学習がイメージできます

なつと なかよし



上 p.30~31

あきと なかよし



上 p.44~45

ふゆと なかよし



上 p.74~75



下 p.2~3

季節に沿った大単元構成にしていることで、ページが進み活動が展開していく、子どもの意識に沿った単元構成になっています。

同じ活動でも、上下巻で発達段階の特性を踏まえた活動、子どもの姿を例示しています。

上 p.18~19



上 p.22~23



上 p.51



上巻では、生き物の体のつくりや動きに着目させています。

下 p.39



下巻では、生き物の誕生から死までの営みに着目させています。

### 3 子どもの思いや願いを引き出すヒントがつまっています

先生が自由に展開できる、ゆとりのあるページを設けています。子どもの発想から、自由な生活科の活動の展開が可能です。



あえてモノクロ写真を使用することで、色への視点を投げかけ、子どもの想像力をかき立てます。



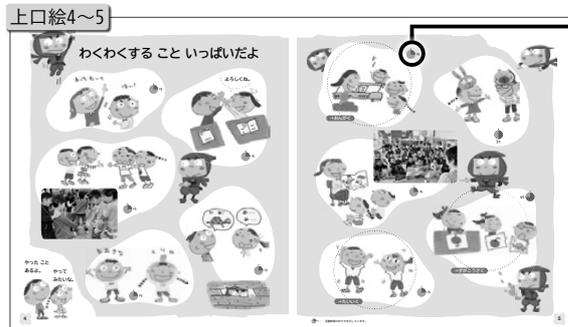
美しい情景，繊細な自然の営み，「？」を生み出す視点の投げかけで，子どもの感性を刺激します。諸感覚を活用した関わりは，子どもの感覚や世界を豊かにします。

### 4 仲間づくりを軸に，楽しく，豊かな学校生活が始まります

幼児期に身に付けてきた力を引き出す環境をつくります。そのためにも，一日の流れを知ることによって不安を減らし，仲間づくりで安心につながります。「自分でできる」「自分でやってみたい」自信と意欲をもとに学校探検につながり，子どもが自ら考え，行動するという学びの流れを創り出します。



一日の流れを意識することで，無理なく学校生活に慣れることができます。



仲間づくりの活動の例示。活動ごとの時間配分を示すことで，入学直後の柔軟なカリキュラム編成が可能です。



子どもが自分で考え，自分で行動できるよう促します。自分でできるという自信がその後の意欲につながります。



**忍者キャラ** 子どもの力を信じ，待つて見守る存在として忍者のキャラを設定しました。



入学直後のわくわく感，やってみたいという意欲をもとにした1年生だけの学校探検で，主体的な活動を創り出します。

**きらきらことば**

活動に即して、「きらきらことば」を紹介しています。

おしえてね  
：こうするといよ・わかった・うまくできたよ・すごいね

39

上 p.39

## 5 現代的な諸課題に対応した教科書です

### 防災・安全教育

自分の身を守るための習慣や技能を身に付けることを目指しています。「がくしゅう どうぐばこ」で取り上げるとともに、校外に出かける場面では、その都度安全について考えることを投げかけています。



上 p.109

### 情報活用

活動中に記録を撮る、振り返る、発表時に活用するなど、活動をより深めるためにタブレット PC などを活用しています。



上 p.51

下 p.58

### 外国語教育

生活科の活動と関連する用語の紹介や、日本の文化とともに海外の文化を紹介しています。

上 p.61



下 p.136

### 道徳教育

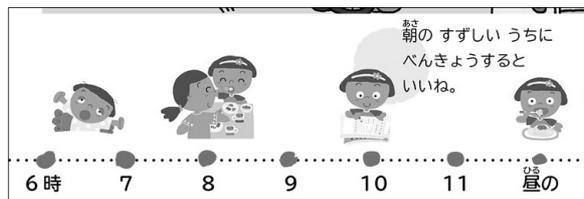
挨拶やきまり、伝統・文化の尊重や国際理解、生命尊重など具体的な活動を通じて道徳教育との関連をはかりました。



下 p.39

### 心身の健康の保持増進

基本的な生活習慣の確立のため、一日の自分の生活を意識する場面を設けています。



下 p.112

### 食

自分たちで育てた野菜を家で味わう場面を設け、食についての意識を高めています。



下 p.45

## 6 専門家監修のもと、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました

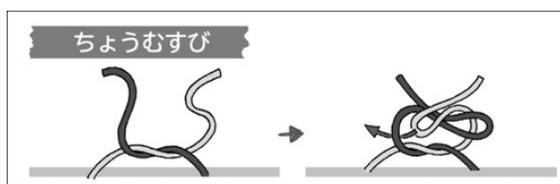
### ○ UD フォントを使用

見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。また、小学校低学年の教科書であることをふまえ、教科書体を採用しています。

UD  
FONT

### ○ カラーユニバーサルデザイン

色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮しました。



上 p.128

### ○ 分かち書きや文節改行

文章の分かち書きや、読みやすい位置で改行をしています。

上 p.69

うまくつくるこつをおしえあいながらやろう。



下 p.94

みんなで  
はっぴょう会の  
はいかく  
計画を立てて、  
きょうりょくして  
じゅんぴをしよう。

## 教科書の特徴

教育基本法の遵守	・教育基本法第1条の「教育の目標」を実現するために、同2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	・生活科の学習指導要領に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	・子どもの思いや願いをもとに子ども主体の活動が始まるよう、単元の導入を工夫しました。また、伝え合う場面を適切に配置し、気付きが共有化され、さらに次の活動、意欲が生まれ、体験活動・表現活動が自ずと繰り返されることで、気付きの質が高まり、深い学びに導くような流れを意識しました。
発達段階への配慮	・上巻を1年生、下巻を2年生と考え、2年間にわたって取り扱う飼育・栽培活動においては、子どもの発達段階に即した活動内容となるよう工夫しました。(上 p.33, 51ほか 下 p.20, 39ほか)
知識及び技能の習得	・巻末の資料「がくしゅう どうぐばこ」において豊富な資料を掲載し、子どもが活動に即して基本的な知識や技能の習得がはかられるよう配慮しました。
思考力、判断力、表現力等の育成	・答えを示すのではなく、子ども自身に考えさせるための投げかけを意識しました。(上 p.64～65ほか) ・ものを作る活動では、試したり、工夫したりする活動が自ずと生まれるよう、材料や道具のコーナーを作って、子どもの試行錯誤が生まれるような教室環境を工夫しました。(下 p.77ほか) ・絵や文章だけでなく、動作化や劇化など多様な表現方法を例示しました。(上 p.53ほか)
学びに向かう力、人間性の涵養	・活動後の振り返りから、次の活動へつなげる流れを意識しました。(上 p.91, 92ほか) ・町探検した場所に休日に行ってみるなど、生活科の活動がその後の自分の生活に生かされていく場面を取り上げました。(下 p.71ほか)
幼保小の連携、中学年への接続	・上巻冒頭に、スタートカリキュラムに配慮したページを設けました。学校生活の楽しさとともに、不安の解消、仲間づくりを軸とした、安心できる環境づくりを目指しています。生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的なカリキュラム編成が可能です。(上表2～口絵7) ・下巻の最終単元では、これまでの成長を振り返るとともに、子どもが自信と意欲をもって、これからの自分、3年生以降の学習に臨めるような流れを意識しました。(下 p.102～105)
現代的な諸課題への対応	・外国語活動との連携に配慮し、活動に関連する用語の紹介や、海外の文化を紹介しています。また、イラストや写真のなかでも、外国にルーツを持つ子どもを取り上げました。(下 p.134～137ほか) ・郷土や地域、環境、生命の尊重、心身の健康の保持増進、食、防災を含む安全に関する教育等、関連する活動に即して適宜取り上げました。
ICT教育への対応	・タブレットPCを使って活動中に記録を撮る、拡大して観察する、振り返る場面や発表時に電子黒板を使用するなど、生活科の活動をより深めるためにICT機器を活用する場面を例示しました。(上 p.51, 下 p.27, 55ほか) ・無料のデジタルコンテンツを用意し、対応するページにマークを付しました。閲覧に際しては、大人と一緒に見ることを推奨し、発達段階に配慮しました。(上 p.83～85, 下 p.74～77ほか)
道徳教育との関連	・具体的な活動のなかで、適切な挨拶や言葉遣いを考えたり、公共の場所では他者の存在やルールに気付くことができるようにしました。(上 p.28～29, 下 p.110～111ほか) ・動植物との継続的な関わりを通して、生命を大切にする、相手の立場になって考える等の心が育まれるよう配慮しました。 ・季節ごとの家庭や地域での行事を取り上げるなど、我が国の郷土や文化と生活に親しむことができるよう配慮しました。(上 p.60～61, 78～79ほか)
他教科との関連	・他教科との関連が深いところには、関連がわかるようマークを付しました。(上 口絵5, p.5ほか)
評価への対応	・各活動単位で学習カードや作品など、子どもの表現物を多数例示し、学習評価の参考になるよう配慮しました。
家庭・地域社会との連携	・学校のことを家庭で報告する場面を適宜設け、家庭との連携を図りました。(上 p.5, 下 p.5ほか) ・小単元「かぞくは なかよし」では、笑顔を見つけることをきっかけに、家族のあたたかさや家庭における自分の役割に自然と気付くことができるような流れを工夫しました。(上 p.90～95) ・町探検など地域に出かける活動を通して、地域の人々との関わりが深まり、自分の住む町への愛着が育まれるよう意識しました。(下 p.50～71ほか)
安全への配慮	・活動に際して道具を使ったり、校外に出かけるような場面では、その都度安全について考えさせる投げかけをし、知識や技能の定着をはかりました。(上 p.65, 70ほか)
配列・分量	・季節に沿った大単元構成で、スムーズな学習展開を工夫しました。 ・資料的扱いのページをのぞき、上巻103ページ、下巻105ページと、授業時間内に十分な活動ができるよう構成しました。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	・専門家の監修のもと、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。 ・町探検に行く際には、事前にそのルートや時間が誰にとってもわかりやすい表現になるよう工夫しました。また、活動を振り返る際には学習経過がわかるよう写真を時系列で例示するなど工夫しました。(上 p.55, 下 p.54ほか)
印刷・製本	・環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工しました。 ・製本は子どもにとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

## Ⅱ 対照表

### 上巻 なかよし

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当時数
しょうがっこう せいかつ はじまるよ		(1) (2) 指導計画の作成と取扱い 2(4)	表紙裏～口絵7	—
みんな なかよし	ともだちと なかよし	(1)	4～7	4
	がっこうと なかよし	(1) (4) (8)	8～15	8
	いきものと なかよし	(1) (7)	16～17	1
	さいばい はなや やさいと なかよし①	(7)	18～23	6
	がっこうにくる みち かえる みち	(3) (4) (5) (6)	24～29	6
なつと なかよし	さいばい はなや やさいと なかよし②	(5) (7)	32～37	3
	おもしろい あそびが いっぱい	(5) (6)	38～41	6
	なつは たのしい ことが いっぱい	(2) (3) (5)	42～43	2
あきと なかよし	いきものと なかよし	(3) (5) (7)	46～53	9
	さいばい はなや やさいと なかよし③	(5) (7)	54～59	7
	あきと あそぼう	(3) (4) (5) (6)	60～71	12
	おいでよ あきの テーマパーク	(5) (6) (8) (9)	72～73	6
ふゆと なかよし	ふゆと あそぼう	(1) (3) (5)	76～89	15
	かぞくは なかよし	(2) (8)	90～95	6
	もう すぐ 2年生	(1) (8) (9)	96～101	9
	はるを さがそう	(5)	102～103	2
がくしゅう どうぐばこ		(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	104～129	—
			合計	102

### 下巻 はっけん

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当時数
春 はっけん	どんな2年生に なろうかな	(1) (8) (9)	4～9	4
	春の あそび はっけん	(3) (4) (5) (6)	12～15	2
	さいばい 花や やさいの 大きくなる ひみつ はっけん①	(5) (7)	16～21	6
	春の 町 はっけん	(3) (4) (5) (8)	22～27	10
	生きもの はっけん	生きて いるって すごい! 雨の 日に はっけん	(3) (5) (7) (2) (5) (8)	30～39 40～41
わたしの 町 はっけん	さいばい 花や やさいの 大きくなる ひみつ はっけん②	(1) (5) (7) (8)	42～45	4
	はっけん かんどう 夏休み	(2) (3) (5)	46～47	1
	町には はっけんが いっぱい	(3) (4) (5)	52～59	10
	みんなの はっけんを あつめよう 町の 人につたえたい	(3) (4) (5) (3) (4) (8) (9)	60～65 66～71	10 12
つくる 楽しさ はっけん	おもちゃを 作ってみよう	(6)	74～77	3
	楽しさの ひみつ はっけん!	(6) (8)	78～81	6
自分 はっけん	はっけん 自分の よい ところ	(1) (2) (9)	84～87	3
	自分の ことを もっと 知りたいな	(1) (2) (3) (8) (9)	88～93	9
	おいでよ、自分 はっけん はっぴょう会	(1) (2) (3) (8) (9)	94～97	8
	ありがとうを とどけよう	(1) (2) (3) (8) (9)	98～101	4
	みらいに むかって はばたこう!	(9)	102～105	4
がくしゅう どうぐばこ		(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	106～137	—
			合計	105

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-163	小学校	生活	生活	1・2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	生活・103 104	たのしいせいかつ 上 なかよし 下 はっけん		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
上36	<b>のこった いろみずで</b> まぜると いろが かわるかな？	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容(6)身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。</li> <li>内容の取扱い(3)具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにするため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。</li> </ul>	0.25
上81	<b>むかしの 小学校</b>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容(3)地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。</li> </ul>	0.25
上89	かげの むきが かわるんだね。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容(5)身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心をもつとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。</li> <li>内容の取扱い(3)具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにするため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。</li> </ul>	0.25
上 122-123	<b>がくしゅう どうぐばこ</b> <b>7 なかよし クッキング</b>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容(2)家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとする。</li> <li>内容(7)動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。</li> </ul>	2
下15	<b>とじたい、ひらいたり</b> タンポポの 花の ようすが ちがうよ。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容(5)身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心をもつとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。</li> <li>内容の取扱い(3)具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにするため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。</li> </ul>	0.25

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
下39	<b>レインボーうんち 大きくせん</b> 食べものの ちがいで うんちの 色が かわるのかな？	1	・内容(7)動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。	0.25
下114	<b>セミの 一生</b>	1	・内容(7)動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。	0.5
下115	<b>カブトムシの 一生</b>	1	・内容(7)動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。	0.5
下116	<b>むきには 名前が ついて いるね</b> お昼に かげの 方を むいて 立って みよう。	1	・内容の取扱い(6)生活上必要な習慣や技能の指導については、人、社会、自然及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して行うようにすること。	0.25
下 134-137	<b>がくしゅう どうぐばこ 13 せかいの なかま</b>	1	・内容の取扱い(5)具体的な活動や体験を行うに当たっては、身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒などの多様な人々と触れ合うことができるようにすること。	4
合計				8.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容